

ppm 以下)。

(6) バリウム (1) の液に塩酸 2 mL を加え、2 分間煮沸し、冷後、ろ過し、ろ液が 100 mL となるまで水で洗う。この液 10 mL に希硫酸 1 mL を加えるとき、液は混濁しない。

乾燥減量 1.0 % 以下 (1 g, 105 °C, 2 時間)。

強熱残分 0.20 % 以下 (1 g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.5 g を精密に量り、中和エタノール 40 mL 及び水 20 mL を加え、加温して溶かし、フェノールフタレイン試液 2 滴を加え、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液で滴定し、終点近くで新たに煮沸して冷却した水 100 mL を加えて更に滴定する。

0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL = 40.25 mg C<sub>24</sub>H<sub>34</sub>O<sub>6</sub>

貯 法 容 器 密閉容器。

## デヒドロコール酸注射液

Dehydrocholic Acid Injection

デヒドロコール酸ナトリウム注射液

本品は水性の注射剤で、定量するとき、表示量の 95 ~ 105 % に対応するデヒドロコール酸 (C<sub>24</sub>H<sub>34</sub>O<sub>6</sub> : 402.52) を含む。

製 法 本品は「精製デヒドロコール酸」をとり、「水酸化ナトリウム」の溶液を加えて溶かし、注射剤の製法により製する。

性 状 本品は無色~淡黄色透明の液で、味は苦い。

pH : 9 ~ 11

確認試験 本品の表示量に従い「精製デヒドロコール酸」0.1 g に対応する容量を分液漏斗にとり、水 10 mL 及び希塩酸 1 mL を加えるとき、白色の沈殿を生じる。これをクロロホルム 15 mL ずつで 3 回抽出し、全クロロホルム抽出液を合わせ、水浴上でクロロホルムを留去し、残留物を 105 °C で 1 時間乾燥するとき、その融点は 235 ~ 242 °C である。

純度試験 重金属 本品の表示量に従い、「精製デヒドロコール酸」1.0 g に対応する容量をとり、水浴上で、ほとんど蒸発乾固し、残留物につき、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下)。

エンドトキシン 0.30 EU/mg 未満。

定量法 本品のデヒドロコール酸 (C<sub>24</sub>H<sub>34</sub>O<sub>6</sub>) 約 0.5 g に対応する容量を正確に量り、100 mL の分液漏斗に入れ、必要ならば水を加えて 25 mL とし、塩酸 2 mL を加え、クロロホルム 25 mL, 20 mL 及び 15 mL で抽出する。全クロロホルム抽出液を合わせ、洗液が酸性を呈しなくなるまで冷水で洗い、水浴上でクロロホルムを留去し、残留物に中和エタノール 40 mL 及び水 20 mL を加え、加温して溶かし、フェノールフタレイン試液 2 滴を加え、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液で滴定し、終点近くで新たに煮沸して冷却した水 100 mL を加えて更に滴定する。

0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL = 40.25 mg C<sub>24</sub>H<sub>34</sub>O<sub>6</sub>

## 貯 法

保存条件 遮光して保存する。

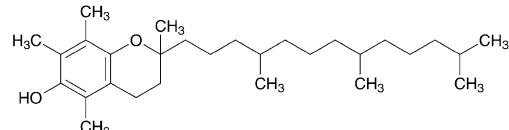
容 器 密封容器。本品は着色容器を使用することができる。

## トコフェロール

Tocopherol

ビタミン E

dl- $\alpha$ -トコフェロール



C<sub>29</sub>H<sub>50</sub>O<sub>2</sub> : 430.71

2, 5, 7, 8-Tetramethyl-2-(4, 8, 12-trimethyltridecyl)chroman-6-ol [10191-41-0]

本品は定量するとき、dl- $\alpha$ -トコフェロール (C<sub>29</sub>H<sub>50</sub>O<sub>2</sub>) 96.0 ~ 102.0 % を含む。

性 状 本品は黄色~赤褐色透明の粘性の液で、においはない。

本品はエタノール (99.5), アセトン, クロロホルム, ジエチルエーテル又は植物油と混和する。

本品はエタノール (95) に溶けやすく、水にほとんど溶けない。

本品は旋光性を示さない。

本品は空気及び光によって酸化されて、暗赤色となる。

## 確認試験

(1) 本品 0.01 g をエタノール (99.5) 10 mL に溶かし、硝酸 2 mL を加え、75 °C で 15 分間加熱するとき、液は赤色~だいだい色を呈する。

(2) 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法の液膜法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトル又はトコフェロール標準品のスペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

吸 光 度 E<sup>1cm</sup> (292 nm) : 71.0 ~ 76.0 (0.01 g, エタノール (99.5), 200 mL).

屈 折 率 n<sub>D</sub><sup>20</sup> : 1.503 ~ 1.507

比 重 d<sub>20</sub><sup>20</sup> : 0.947 ~ 0.955

## 純度試験

(1) 溶状 本品 0.10 g をエタノール (99.5) 10 mL に溶かすとき、液は透明で、液の色は色の比較液 C より濃くない。

(2) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 4 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下)。

定量法 本品及びトコフェロール標準品約 0.05 g ずつを精密に量り、それぞれをエタノール (99.5) に溶かし、正確に 50 mL とし、試料溶液及び標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 20  $\mu$ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマ